

門三  
2800  
卷5

明治十年七月

田中芳男 撰  
片山淳吉 參解

270  
50  
6

卷五

文部新刊  
小學懸圖  
博物教授書

東京書肆  
錦森堂發兌

福田大學圖書館  
27.3.1  
藏書



多  
一  
覽  
類  
樵山書  
嶽  
筆

博物教授書

卷五

天保館

多節類一覽總論

動物第四

多節類ハ無脊動物ノ一ニシテ其類甚多ク其形亦同シカラスト雖モ、皆其體ハ節ト環トヲ以テ成ル、今之ヲ甲殼類、蜘蛛類、昆蟲類、環蟲類、内臓蟲ノ五部ニ分ツ、其種類ノ各異ニ從ヒ其形體甚一様ナラス、其生活スルニ或ハ空中ニ飛翔シ、或ハ陸上ニ匍匐シ、或ハ土中ニ潜伏シ、或ハ水中ニ遊泳ス、又内臓蟲ノ如キハ動物ノ體中ニ生シテ其體ニ關節アルアリ、關節ナキアリ、故ニ或ハ此類中ニ列セスシテ多肢類ヘ入ル、

凡此類中人生ノ用ニ供スル者ハ、唯蟹蝦ノ肉ノ美味ナルト、蠶絲ノ絹布ヲ製シテ貴重ナルト、蜂密ト蠟ノ各需用アルト、又蛭ハ吸血ノ性アルニ因リ醫療ニ用キラル、等ニシテ、其他ハ人ニ益アル者少ク、殊ニ蜘蛛類ハ恐ルヘキ毒ヲ具ヘ、蚊、蠅、蚤ハ人ニ厭惡セララル、ト等、人ノ知ル所ナリ、

明治十年二月

天海館

博物志抄書

卷之五

天海館

# 文部省

田中芳男 選

服部雪齋 畫

神原芳野 校

其類ハ翼カクシテ胸部又腹部ニ節多キ脚アリ、皆水中  
一棲活シ鯉ヲ以テ呼吸ス、其外皮ノ通常堅硬ニシテ石ノ  
如シ、故之ヲ甲殼類ト名ク、又屢外皮ヲ脱スルノ性アリ、  
俗ニかざみ又うみかスリト稱ス  
甲ノ大サ七八寸アリ、尋常食用ノ蟹ニシテ其肉多ク甚タ  
味美ナリ、

其類

## 甲殼類 卽蟹蝦類

此類ハ翼カクシテ胸部又腹部ニ節多キ脚アリ、皆水中  
一棲活シ鯉ヲ以テ呼吸ス、其外皮ノ通常堅硬ニシテ石ノ  
如シ、故之ヲ甲殼類ト名ク、又屢外皮ヲ脱スルノ性アリ、

俗ニかざみ又うみかスリト稱ス

甲ノ大サ七八寸アリ、尋常食用ノ蟹ニシテ其肉多ク甚タ  
味美ナリ、



イシガニ

石蟹

又やまとがユト稱ス、溪流石間ニ棲ム  
小蟹ニシテ大寸許アリ、冬月ニ至テ山  
民捕リ食フ者ナリ、



前後ニ比スレハ  
此圖甚ク大ナリ

シマガニニ申ス、  
又たがあ、かにトモ云フ蟹類  
ノ中最大甲、  
ノル者其脚ノ長三尺餘アリ、



水中

寄居蟲

俗ニおんけ申ス、螺ノ空殼  
ニ棲ム蟹ニシテ殼ヲ負テ  
匍匐シ、驚クトキハ殼内  
ニ蟄ス、



前ノ蟹ノ圖ニ  
比スレバ此圖  
甚ク放大ナリ

サリガニ 蜷蛄

又えびがにト云フ、奥羽ノ溪  
流ニ棲ム、殊ニ北海道ニ多シ、  
其頭ニ白石アリ、蜷蛄石ト稱  
シ、藥用ニ供ス、



イセエビ 龍蝦

又かきくら、えびトモ云ヒ、  
又單ニえびトモ稱ス、  
蝦中ノ最大ナルモノニ  
テ其味殊ニ羨ナリ、

エビ 草蝦

淡水ニ生ス、  
四五月多ク漁ス、  
河蝦中ニテ味、  
最羨ナルモノナリ

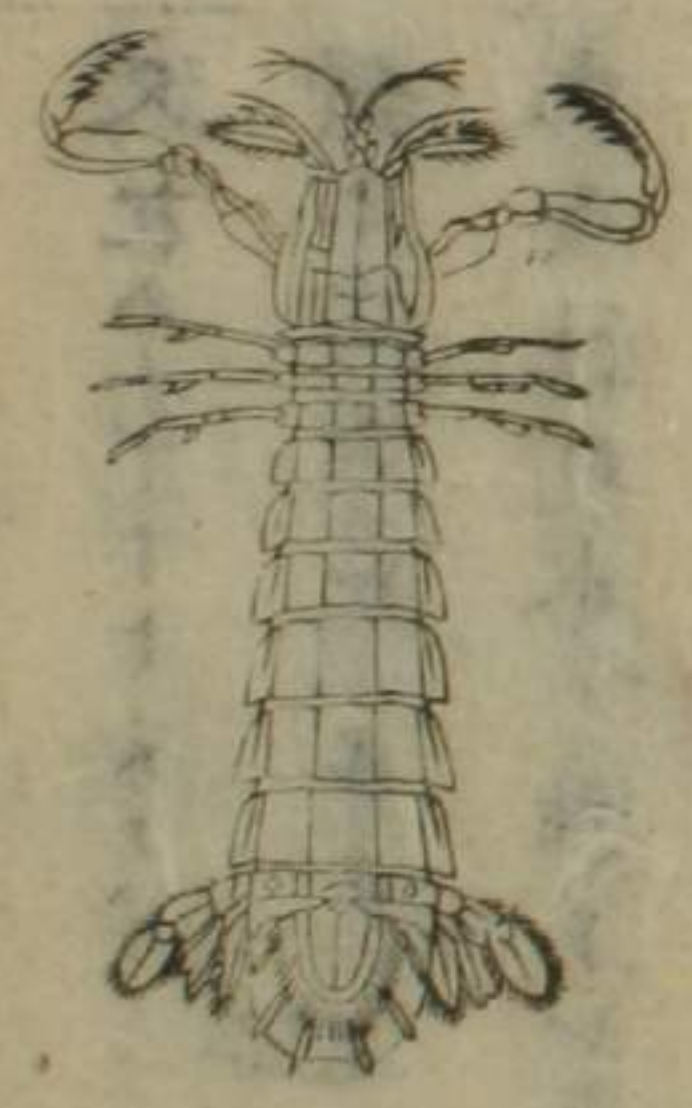


一ニシテ、其色、青蝦

武藏ノ芝浦等テ多ク漁スル  
此品類多シ、大者三四寸殼薄ク  
味佳ナリ、

シヤコ 蝦蛄

又去やくナリト云フ、  
海産ノ蝦類ニシテ身扁  
ク長サ四五寸ナリ、塩水  
ニ燻テ殼ヲ去リ食ス、



トビムシ 水蟲

又のみにトモ

とぬむト云フ、

舟濕ノ地ニ生ス、形ハ蝦ニ

似テ大二三十分許善ク飛躍ス、



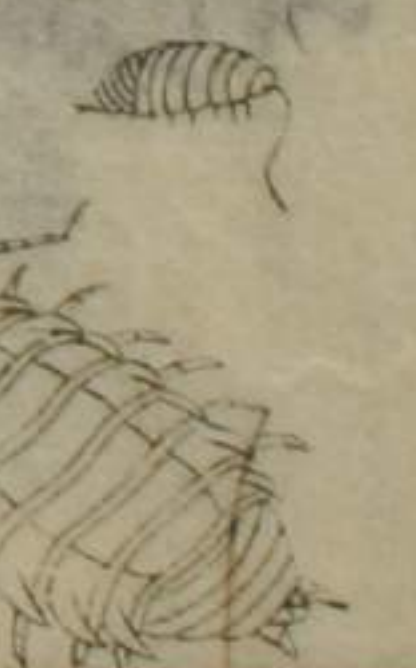
ワラジ、ムシ 鼠婦又伊蟻

又たぬむト云フ、

檐下陰濕ノ地ニ多ク

生ス、性利水ノ能テレハ

往時ハ利尿藥ノ中ニ列セリ



フナムシ 海蛆

舟底ヲ蠹蝕スル虫ナリト

稱シテ、此名アレトモ、潮水

ノ通スル河崖ニ多シ、長サ

一二寸行走速カナク、



カメノテ 石蚶

海岩ニ着生シ、潮來レハ甲ヲ開キ、

出テ、潮去レハ甲ヲ閉テ蟄ス、七十至

其甲ノ形龜ノ手ニ似タリ、又ハ

波ニ名ツクト云フ、



カズト、ガニ 蟹魚

西海ニ多シ、長サ二三尺アリ、其

甲ノ形麩ニ似タリ、

又之ヲ以テ杓トス、

其肉ハ食用セス、碎テ肥料トス、



其二 蜘蛛類

此類モ翼ナクシテ節多キ脚アリ、頭ハ胸部ニ着キ生ス、皆四對ノ脚アリテ腹部ノ脚ナシ、肺又氣管ニ因テ呼吸ス、蟹ヲ除クノ外皆卵生ス、其幼ナルキヨリ其體ヲ變化セス、唯屢外皮ヲ脱スル者ナリ、

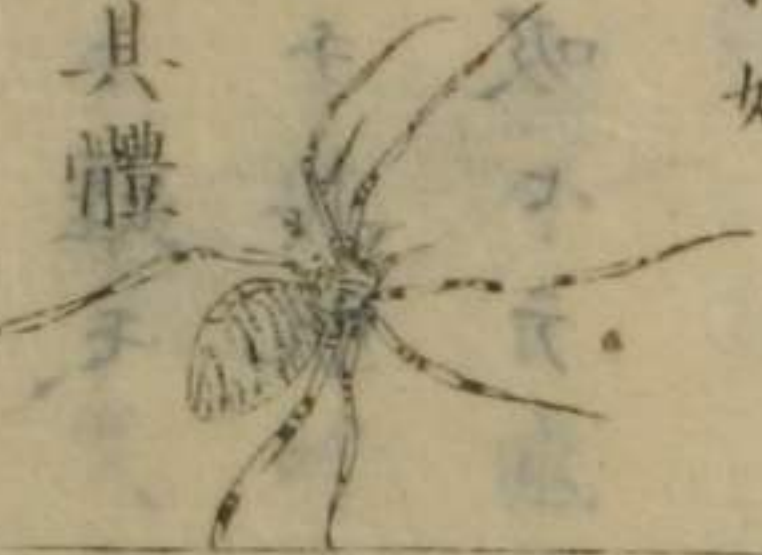


夕大、グモ 土蜘蛛

檐下又石垣ノ間ニ棲ミ、網ヲ管ムコト至テ密ナリ、常ニ潜ミテ小蟲ノ來リ罹ルヲ待チテ食餌トス、

チヨラウケモ 給新婦

樹間ニ、粘質アリ、巢ヲ作ル、故蟲之ニ觸ルハ去ルヲ欲ス、其體ハ黄斑ニ赤色ヲ交ヘ、美觀ナリ、



ハハトリ、グモ 蠅虎

人家ノ戸壁ヲ徘徊シ、專ラ蠅等ノ小蟲ヲ捕食ス、性馴レ易シ、故人養ヒテ戲玩ニ供スルコトアリ、



サノリ 蟹

内國ニ産ヤスト雖モ漢藥ニ供セシヲ以テ舶來アリ、全蟹ト稱ス、蜘蛛類中最猛毒アル者ナリ、



アト、ヒサリ 惡颯

蟹ニ似タル蟲ニシテ尾ナシ、大僅一二分アリ、古紙敗冊又舊草ノ間ニ棲ミ、他ノ細小蟲ヲ捕食ス、





メクラ、グモ

其脚甚タ長キカ故ニ、又やまの、

あーなち、くもト云フ、巢ヲ營マズ、

唯陰林草石ノ間ニ在ルノミ、



ダニ 壁蝨

林叢ノ中ニ生スト雖モ、

人畜ヲ見レバ、即チ其肌

膚ニ嚙入り、血ヲ吸ヒテ

離ル、トナシ、



放大ナル圖

其三 昆蟲類

此類ハ頭ト胸部ト分レ感角(俗ニ鬚)ヲ稱スアリ、其體形

全ク様ナラス、氣管ニ因テ呼吸シ皆啖生ス、僅ノ種類ヲ除

ク外皆六脚ニシテ翼アリ、長シテ其幼時ノ體形ヲ變化

スルモノアリ、

三チ、ヲシヘ 俗ニ和ノ斑發ト云フ

斑點アル甲蟲ニシテ毒アリ

毎ニ路上ニヲリテ人ヲ見ハ

飛テ數尺ヅ、先ダチ行ク是

其名、起ル所ナリ、



龍蝨

池沼溝渠等ノ渚水ニ棲ミ自在ニ遊泳スレ氏又出デ、飛翔ス體ニ油氣多シ、出羽ニテハ食用スト云ス、



タマムシ 吉丁蟲

背腹共ニ綠色ニシテハ金光アリ甲蟲ノ中最美ナル者ナリ、



コガネハシ 金龜子

此類多シト雖モ緑色金光ナル者ヲ通常品トスル者ナリ、



カブト、ムシノ飛生蟲大ナル蜻蛉ノ羽化セル者ニテ雄ニハ頭上ニ角アリ、包莢樹ニ集ル故ニといふちむトモ云フ、



ホタル 螢

池澤河邊陰濕ノ所ニ生スル小甲蟲ニシテ晝ハ水際ノ草間ニ隠レ、黄昏ヨリ光ヲ放チテ飛翔ス、



斑蝥、荒青ハ  
和産ナシ



ハンメウ  
斑蝥

アヲハンメウ  
荒青



コクザウ 米牛 又ヌムシ

積穀ノ中ニ生シ、

米麥等ヲ食ヒ、

天ニ穀物ノ害ヲナス小甲蟲ニシテ

長サ二分許アリ繁殖甚タ速ナリ、



葛上亭長



地膽

葛上亭長ハ豆葉ヲ食シ、  
地膽ハ草野ニ棲ム以上皆  
毒蟲ナレ氏藥用トスベシ

放大  
ノ圖



カニキリ、ムシ 天牛

長キ威角ナル甲蟲ニシテ

大小數種アリ、此類ハ嚙ムカ

甚タ強ク髪ヲモ容易ニ

食切ル、故ニ此名アルナリ、



キン、チユウ 金龜蟲

扁平ナル小甲蟲



ニシテ、形甚タ

龜ニ似テ金光

アリ、



放大  
ノ圖

テンタウ、ムシ 紅娘

隆圓ナル小甲蟲

ニシテ、背上ノ色

一ナラマ、光澤美麗

ナルカ故、兒童ニ愛玩マラル



ハサニムシ 蛆 蛄

汗穢塵土ノ間ニ棲ム尾ハ  
鉄状ノ岐ヲナス以テ他物  
ヲ挿ニ防禦ノ具トス鷄好  
テ之ヲ食ス

アブラムシ 又ゴキアラヒムシ

庖厨内ノ陰隙ニ棲ニ

大夜間出テ食餌ヲ竊ニ食ヒ

且ツ惡臭ヲ遺ヌヲ以テ

大ニ厨婦ニ忌厭セラル

飛蟻

羽アリ

羽ナシ



蘇齋カマキリ 螳螂 又ヤス 黍稷

夏秋ノ間林野ニアリ其前脚ノ形ハニ

其鎌状ヲナス故ニ螳螂又斧ト云フ

草裡以テ他ノ小蟲ヲ捕リ食フ

又ヤス 黍稷

今秋ケヲ又オクラ 蝶 姑

土中ニ穴居シ秋月ニ至リ

善ク鳴ク皆翼アルヲ以テ

夜間ハ随意ニ飛翔シ燈火

ニ近ツク



コホロギ 蟋蟀



金鐘兒

聲音ノ清朗ナルニ因リ、  
愛玩セラル、又此二蟲ノ名  
ハ古時ト互ニ顛倒スレ、  
今時ノ世俗ニ從フ、

キリギリス 又ギス 螽斯

草野ニ棲ミ、夏月ヨリ鳴ク、  
其聲織撥ニ似タリ、因テ又「  
とらむり」名アリ其聲アルカ故ニ  
籠養セラレテ兒童ノ玩弄トナル



スツムシ 金琵琶

クツワムシ 聒々兒

螽斯ト同シク人ノ籠養スル  
羽蟲ニシテ、其鳴聲馬銜ヲ撰  
スニ似テ終夜止マス、其喧ニ  
堪ヘカタシ、

バツタ 蟲螽

螽斯ニ似テ鳴カス、原野ニ多シ  
其種類一ナラス、茲ニ圖スル者  
ハおほむつたト稱シテ、其最モ  
大ナルモノナリ、



イナゴ

昆虫ノ類ニシテ、稻田ニ生シ、  
稻葉ヲ食ヘドモ穀ニ害ナシ、  
人捕テ炒リ食シ、又鶏ノ食餌  
トス



カワバムシ又カヘル、ハサミ

水中ニ棲ム甲蟲ニシテ、螳螂ノ  
斧ニ似タルニ個々鉤アリ、蟲魚  
ヲ捕リ食ス、此類尚ホニ三種アリ、



蝉類ノ中此蟬ヲ通常トス、盛夏

ヨリ鳴噪ス、此蟲初メ地中ニ生  
シ、後出テ皮ヲ脱キ羽化スルモ  
ノナリ、



ヒグラシ 茅蝸

樹木深陰ノ所ニ生シ、薄暮  
及ヒ未明ニ鳴ク、其聲寂寥  
ナルヲ以テ古來人ノ吟歌  
ニ稱セラル、



ムギカラ、トンボ

其雄ヲ志ほくらとんぼト云フ、  
隨地ニ多シ、其卵ヲ産スル為  
ニ毎ニ瀕水ニ其尾ヲ點浸  
セリ、



ヤシマ 蜻蛉

又やほ、とんぼトモ云フ、此類  
中最大ナルモノニシテ飛翔  
甚ク迅速ナレハ善ク飛蟲ヲ  
捕り食フ、



アカトシホ 赤卒

田野ニアリ、全身赤色剪絨  
ノ如ク翼モ亦赤シ、此類ニ  
志ヤウ、リヤウ、とんぼアリ  
秋月多ク郡飛ス、



テフ、トンボ 紺磐

其翼闊クシテ、黒色ニ藍色ノ光  
アリ、其飛翔スル形ハ窈窕トシ  
テ蝶ニ似タルヲ以テ、如此名ツ  
クト云フ、



オハクロ、トンボ又ヤナギ、チヨラウ

深黒ニ藍光アル者ト茶色ノ者トアリ、皆樹陰ノ河邊ニ多シ其止ルニ必ス其翼ヲ合ス、



ウスバ、カゲロウ 蚊蜻蛉

スリバチ、ムシ 砂梭子 又アトサリ、ムシ

樹下屋後等ノ陰所ニ飛フ其兒ヲ砂梭子ト云フ乾砂土ニ桶盆状ノ小孔ヲ作り、小蟲ヲ陥シテコレヲ食フ、



テフ 蛺蝶

蝶類甚タ多シ、茲ニ圖スルハハヒト、てふト云ヒ、其翼ヲ表面赤色羨麗ナルモノナリ、



アゲハ、テフ 鳳子蝶

大ナル蝶ニシテ、其蠟ハ香氣アル草木ニ生シ緑色ナリ、之ニ觸ルレハ赤色ノ二角ヲ出シ惡臭ヲ放ツ、





博物志 卷之五 五

シロテフ 粉蝶



キテフ



黄蝶

共ニ菜葉ニ生スル  
小蠋ノ羽化スルモ  
ノナリ

ユフガホ、ベッタウ 天蛾

身肥大ニシテ翼強ク、黄昏ヨリ  
來リ花頭ヲ襲フ、其性極メテ猛  
物恰モ小鳥ノ飛ガ如シ、ハ



カヒコト 蠶



カヒコト 蠶



繭



蠶

桑葉ヲ以テ養ヒ、其  
繭ヨリ絲ヲ製シ、絹  
帛ヲ織ル、小蟲ノ中  
最モ益ヲ成ス、人  
ノ知ル所ナリ、

ヤマト 野蠶

櫟樹ニ生スル野生ノ蠶ニテ、  
形大キク性强シ、其繭大ニシ  
テ黄色光澤アリ、絲甚ク強シ



十六天長官

シラガのタラウ 楓蠶

是亦櫟<sup>クマノ</sup>枹等ニ生スル野蠶ニ  
シテ繭ハ網ノ如シ其繭ヲ作ラ  
ムトスルニ當リ割テ天蠶絲ヲ製  
ス其繭ヲすか<sup>カ</sup>、た<sup>タ</sup>ら<sup>ラ</sup>ト云フ、



アリ 蟻

蟻類多シ茲ニ圖スルハ黒蟻  
ナリ皆地内ニ棲ミ夏秋ノ間  
勉テ食物ヲ其巢ノ中へ運ビ  
冬月ノ備トス



蠶ニ亞ジガ<sup>カ</sup>、<sup>チ</sup>又コシホ<sup>ク</sup>、<sup>チ</sup>ハチ 蠶類

イ<sup>ニ</sup>、<sup>チ</sup>竹葦等ノ管内ニ泥土ノ



ヲ生ム其筒ヲ作ル時聲  
アリ似我ト云フカ如シ、

クマハチ 黄蜂

大ナル蜂一シテ高樹ノ枝又  
堂社ノ高梁等ニ房ヲ作ル其  
外殼ハ圓ク其色松皮ノ如シ



アナ、バチヌス、カハラバチ

土蜂

山野ノ土中ニ巢ヲ營ム、其房  
數層アリテ兒多シ、山民採テ  
食ス小蟲ノ内最モ美味ナル  
者ナリ、

三ツバチ 蜜蜂

山野ニ自生ノ者アレバ、  
多クハ人家ニ養ヒテ密  
ト蠟トヲ採ル、小蟲ノ中  
蠶ニ亞テ、民益又ル者ナリ



オヤバチ 俗ニ王ト云フ



クロバチ 雄ナリ

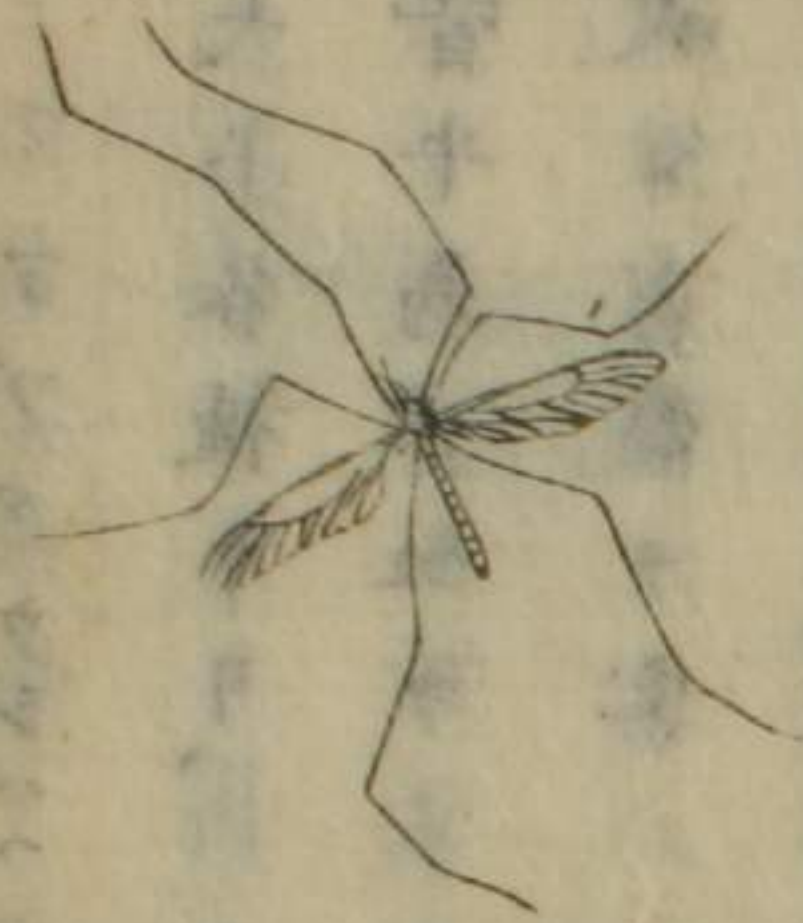


ハクニキバチ 雄ニモ、雌ニモアラズ



カ 蚊

夏秋ノ夜群飛シ来リテ、  
人畜ヲ螫ス、是子<sup>オウゴン</sup>ノ羽化  
セシ者ナリ、別ニ豹脚蚊ト名  
ツクルモノアリ、其螫最モ甚シ、



カノ、ムバヌカバンボ

蚊ニ似テ大ナルガ故ニ、

名ヅク、毎ニ紙障ヲ打ツ

ノミナレバ、其蛆タル片ハ、  
大ニ菜圃ノ害ヲナス、



蚊大ナル圖

アブ又ウシバへ 寅

大小各種アリ、  
皆牛馬ノ血ヲ  
吸ヒ畜類ヲ害  
スル者ナリ、



グト 蟻子

形極メテ  
小ナレド  
人ヲ螫セハ其  
腫癢蚊ヨリモ甚シ、

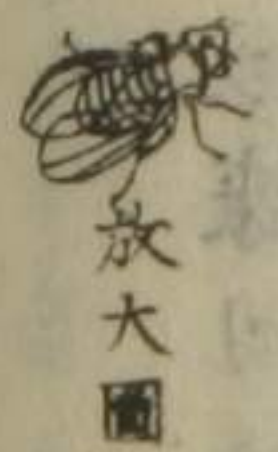


放大圖

ハへ 蠅



キムバへ 青蠅



ミカギクバへ  
放大圖

蠅ハ人家ニ在テ食物ヲ  
貪リ青蠅ハ汗穢ノ物ヲ  
食ヒ程々蠅ハ酒酢等ヲ  
好ムヲ以テ皆人ニ厭忌  
モラル

二三 蠅

人家ノ席間ニ多ク生ズ  
夏秋間衣食ニ介スル  
人ヲ螫シ大ニ忌厭ス  
キ蟲タルヲ人ノ知ル所ナリ



放大ナル圖

衣食ニ生シテ人血ヲ吸フ  
然レ氏務テ清潔ニスレハ  
之ヲ去ル事ヲ得ヘシ又別

ニ頭蟲陰蟲等アリ



放大ナル圖

夜魚

衣箱、書庫等ニ生シテ、  
衣書ヲ害ラス。此蟲  
六七分ニ大サニ至レド、  
遂ニ其體ヲ變化スルナシ、



放大圖

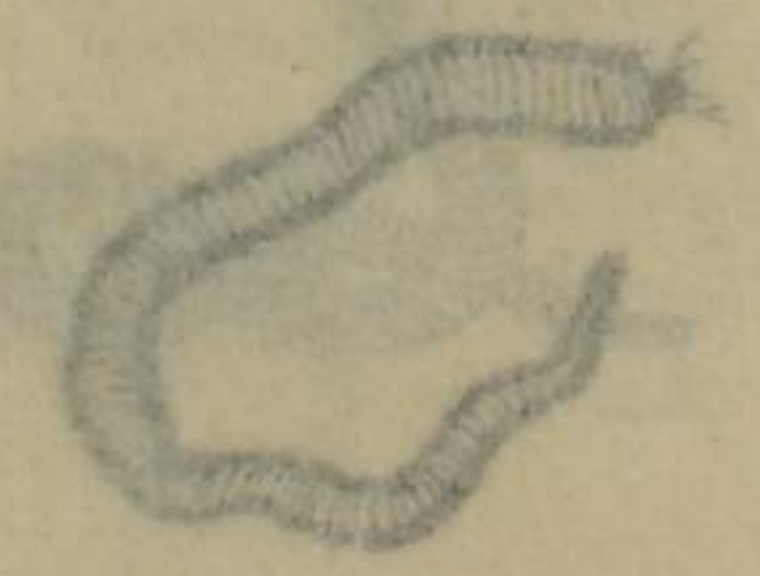
馬陸

鼻濕、地ニ生シ、腐朽物ヲ  
食テ、體ニ惡臭アリ。又山生  
ノ者ヲ山蛭オホエシハシ蟲ト云テ長サ  
二三寸アリ、



蜈蚣

山野ノ石間、又屋下陰濕ノ地ニ  
生ズ、其脚數四十ニ本アリ、  
其最モ大ナルハ長サ  
五六寸ニ至ル、



蚰蜒

家屋ノ陰隙ニ棲ニ、  
夜間出テ、小蟲ヲ襲フ、  
其行走最速ナリ、又大ナル  
者アリ、  
名ヅク



其四 環蟲類

此類ハ其體圓柱狀ニシテ、多クノ環ヲ匝ラスカ如シ長ク挺出スヘク、其脚全クナシ、呼吸ハ内部ノ鰓ニ因リ或ハ小胞ニ因リ、或ハ全體ノ皮ニ因ル、且ツ其形ハ甚タ内臓蟲ニ似タル者ナリ、

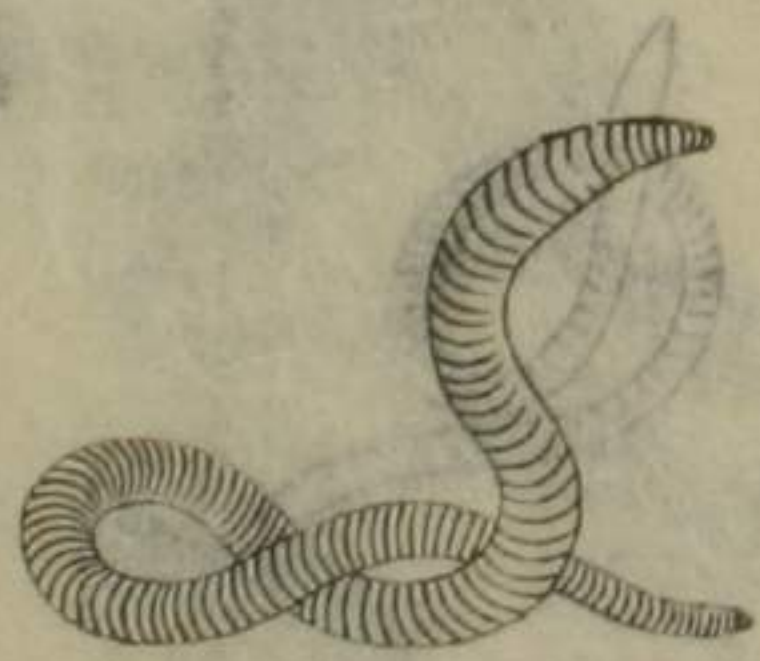
ゴカイ又エムシ 砂蠶

潮水ノ往来スル泥中ニ棲ミ、潮去レハ蟄伏ス、漁人掘捕テ釣魚ノ餌トス、故ニ名アリ、



ミズズリ 蚯蚓

卑濕汗穢ナル土中ニ生ジ泥土ヲ食ス、鳥魚ノ好テ食スル者ナレバ、以テ釣魚ノ餌トスヘシ、



ヒル 水蛭

潛水ニ生ジテ他、動物ニ吸着スルノ性アリ、捕テ吸血セシムベク、醫藥ニ用キテ缺クベカラサル者ナリ

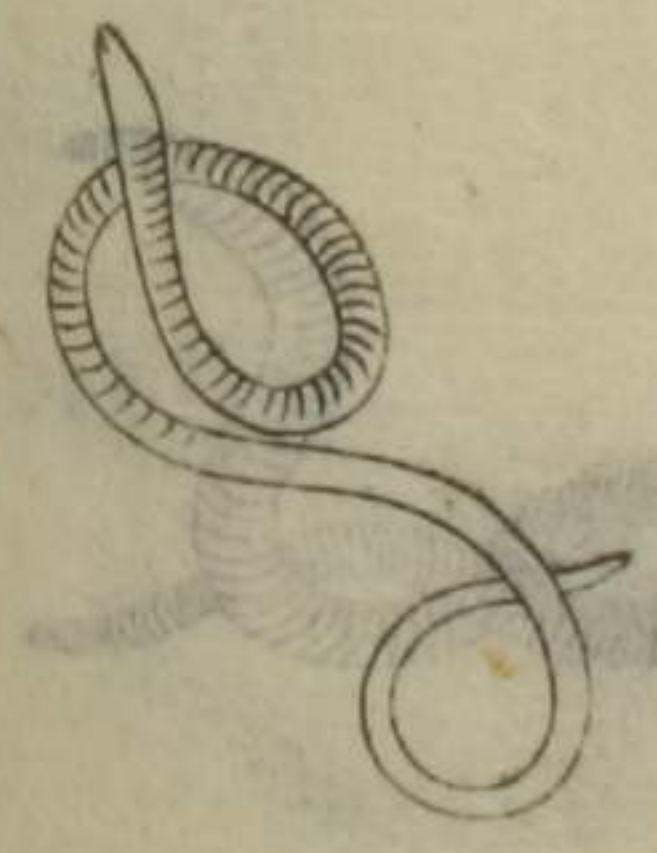


其五 内臓虫

此類ハ蚯蚓状ニシテ、或ハ關節アリ、或ハ關節ナク、又顯著ナル頭ナシ、皆他ノ動物ノ内臓各部ニ寄生ス、其生殖スル所以ノ理ハ通常ノ徴ヲ以テ論スルヲ能ハサレバ今茲ニ省ク、

ハラノムシ又クワイチユウ 蛇虫

人ノ腸内ニ棲ム蟲ニシテ長サ七八寸ニ至ル、多クハ兒童ニ生ジテ大ナル病患ヲナス者ナリ、



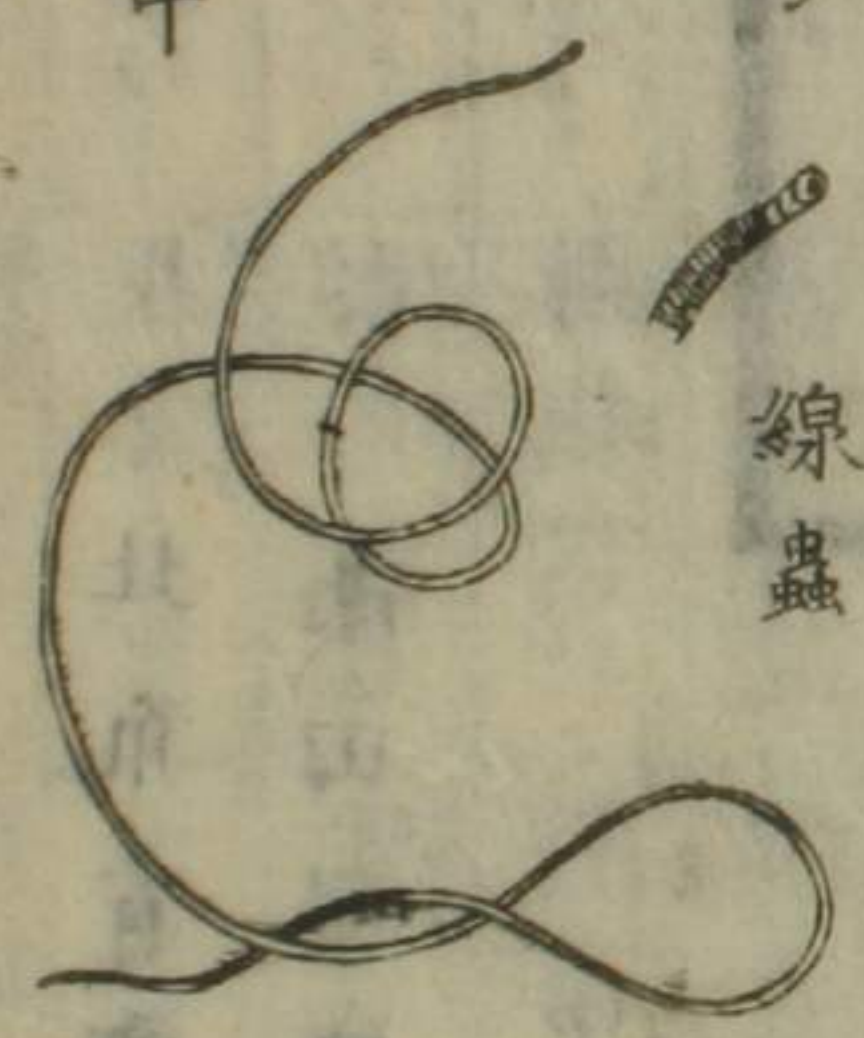
サナダムシ又寸白蟲 疥虫

人ノ腹中ニ生ズル蟲ノ中最大ナル者ニシテ、長サ一丈ニ至ル、北國殊ニ北海道ノ人ニ多シ、



アシ、マトヒ又ハリガテ、ムシ 線状ノ蟲ニシテ、長サ

一二尺餘アリ、多クハ螻蛄ノ腹中、或ハ鳥ノ腹中ニアレド、又瀦水中ニモアリ、



明治十年五月

北爪有郷画  
高田堅齋書



多節一覽ノ索引	類	網論ノ部	無脊動物	昆蟲	遊泳	蠶絲	醫療	カニエロノ	脱	寸許
モ三以下動物類ノ索引ハ其私意ヲ加ヘス鮑同氏ノ聞ク所ナリ	卷ノ加ハス鮑同氏ノ聞ク所ナリ	多節ノ部	ヤホナキイキモノ一無脊動物ト書クハ略ニ過リ	環蟲	關節	絹布	蚊蚤	胸部	がどめ	ヤドカリ
				内臓	列	蜂密	蠅	腹部	又オホカニ	オバケ又ゴキ
				多肢類	節環	節環	履悪	摺活	尋常	螺
				匍匐	甲殼	甲殼類	其一甲殼類	鰓	いかに	空殼
				潜伏	蜘蛛	美味	吸血	堅硬	溪流	匍匐

博物志 卷之五 天長官









